

科目ナンバー	RES-2-003-sn			科目名	群馬の産業と社会I		
教員名	野口 華世			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	・群馬県の歴史や特色を知ることができる。 ・古代から近代における群馬の産業に関する歴史を学ぶ。 ・群馬の産業を成り立たせた自然条件等についても考える。 ・後期の「群馬の産業と社会II」に接続する講座である。						
到達目標	・群馬県の人びとの暮らしを支えてきた産業の歴史や、その特色を知る。 ・古代から近世における群馬の産業を通して、群馬県の歴史の動きを理解する。 ・授業を通して群馬という県を見つめ直す。 ・群馬の産業や社会の歴史について、自信をもって話したり叙述したりできるようになる。これは様々な社会のなかで有効なツールでもある。 ・上記をふまえ、的確な日本語を用いて群馬の産業と社会について、自分なりに叙述できるようになる、ということが到達目標である。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	・講義を中心に進める。 ・担当で作成のプリント(レジュメ・史料・資料など)を活用する。板書が中心となるので、ノートなどを用意すること。 ・毎回、リアクションペーパー(コメント用紙)を配布し、感想・質問・意見などを書いてもらう。次の授業ではその一部を紹介することによって、学生が互いの意見を知ったり、担当者が質問に答えるなどの振り返りを行い、一方通行になりがちな講義を双方向授業にする。 ・期間途中(前半)に、「群馬」に関する本を図書館で借りて読み、課題を提出するという図書館との連携課題がある。なお、これは前期「群馬の人と思想」と共通課題である。また受講生の中から希望者を募り、「本のプレゼン」をしてもらう。これらのことを中間まとめの際に行う予定である。 ・期間途中に、授業内容に則した中間課題を提出してもらう。 ・授業をよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に活用する。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	・特になし。 ・後期の「群馬の産業と社会II」を受講しなくてもよい。						
アセスメントポリシー及び評価方法	試験(60%)、中間課題など(20%)、授業への取り組み姿勢を含めた平常点(20%)で総合的に評価する。						
教材	毎回の授業時に、プリント(レジュメ・史料・資料など)を配布するので、指定のテキストは特になし。						
参考図書	・『群馬県史 通史編』群馬県、1989～1992年 ・『図説群馬の歴史』河出書房新社、1989年 ・『史料でよみとく群馬の歴史』山川出版社、2007年 ・『群馬県の歴史』山川出版社、1997年 ・『群馬の風土と生活』みやま文庫、1992年 ・『からっ風産業』上毛新聞社、1990年 *その他の参考文献は授業でも紹介する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス(概要紹介)						
授業外学修内容	シラバスを読んでくる。					時間数	0.5
2週目							
授業学修内容	群馬の風土と県民性 その1「群馬の地形」						
授業外学修内容	準備学習として「群馬の地形」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。					時間数	1

3週目			
授業学修内容	群馬の風土と県民性 その2「群馬の気候」		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の気候」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
4週目			
授業学修内容	群馬の風土と県民性 その3「群馬の県民性」		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の県民性」について自分なりに考えてみる。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
5週目			
授業学修内容	古代上野国の生産物		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の古代」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
6週目			
授業学修内容	古代上野国と馬		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の古代」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	浅間山噴火からの復興		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の中世」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。課題を作成し、図書館に提出する。	時間数	1.5
8週目			
授業学修内容	中間まとめ提出した全ての課題の紹介「本のプレゼンをしよう」		
授業外学修内容	振り返りとして前半部分の復習する。希望者はプレゼンを準備し、プレゼンをする。受講者はプレゼンに関するコメントペーパーを提出する。中間課題を作成する。	時間数	1.5
9週目			
授業学修内容	中世の宿と市		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の中世」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。中間課題を作成する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	中世上野国の生産物		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の中世」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。中間課題を作成し提出する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	江戸時代における蚕糸業発展 その1「その背景」		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の近世」「蚕糸業」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	江戸時代における蚕糸業の発展 その2「桐生機業の展開」		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の近世」「蚕糸業」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	江戸時代における上野国の流通		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の近世」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。テストの課題を作成する。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	開港と上州の商人		
授業外学修内容	準備学習として「群馬の幕末」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。テストの課題を作成する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	前近代の群馬の産業と社会の特質 ―講義のまとめ―*以上の授業の順番・内容などは進度・理解度により変更になる場合がある。		

授業外学修内容	テストの課題を作成する。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		20.5	
その他に必要な自習時間		69.5	

Number	RES-2-003-sn	Subject	Gunma's Industry and Society I		
Name	野口 華世 (Noguchi Hanayo)	Year and semester	S First semester for 2020	Credits	2
Course outline	O - We can get to know the history and characteristics of Gunma Prefecture.- We will learn the history of Gunma's industry from ancient times to the modern era.- We will also think about the natural conditions which formed Gunma's industry.-This course is I				